



Risk Analysis
Research Center

リスク解析戦略研究センター ニュースレター

News Letter

2024
April

2024年4月



Risk Analysis Research Center

CONTENS

- 02 1. 今月のトピックス
- 02 2. 各プロジェクトからのお知らせ
 - データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト
 - リスク基盤数理プロジェクト
 - 環境情報に関する統計解析手法開発プロジェクト
 - 金融リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト
 - 資源管理リスク分析プロジェクト
 - 地震予測解析プロジェクト
 - 時空間データ解析プロジェクト
- 04 3. センター事務局からのお知らせ

1. 今月のトピックス

令和6年3月に、統計数理研究所では大規模な組織再編が行われました。リスク解析戦略研究センターは、組織に変更なく新たな年度からも積極的に研究活動に取り組んでまいります。

2. 各プロジェクトからのお知らせ

■ データ中心リスク科学基盤整備プロジェクト

- 2月20日 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアム第29回運営委員会を開催しました。

(所内責任者: 南 和宏 教授)

- 3月12日 科研費基盤研究A「公的統計マイクロデータを活用したEBPM支援研究プラットフォームの構築」と革新的自殺研究推進プログラム「ポストコロナの自殺対策に資する統計等のマイクロデータ利活用推進に関する研究」による公開研究集会を開催しました。

- 昨年11月に公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムシンポジウム2023で実施したチュートリアルのうち、東京学芸大学・山下雅代先生の「大学教養レベルにおけるSSDSEの利活用例」の講演動画を公開する予定です。

<https://jmodc.org/videos/>

(所内責任者: 南 和宏 教授)

- 公的統計マイクロデータ研究コンソーシアムNewsLetter第5号を発行予定です。今回の特集は「コツを掴めば意外と簡単!お教えします『オンサイト攻略法』」です。

<https://jmodc.org/publications/>

(所内責任者: 南 和宏 教授)

■ リスク基盤数理プロジェクト

- 3月8日 統計数理研究所共同利用2023年度重点型研究の研究集会「高次元データ解析・スパース推定法・モデル選択法の開発と融合」を開催しました。この研究集会に招聘し、共同研究を行った外国人研究者のKe-Hai Yuan 教授

(ノートルダム大学・米国)とJiang Hu 教授(東北師範大学・中国)には、統計学会春季集会で講演していただきました。

<https://www.ism.ac.jp/events/2024/meeting0308.html>



(企画立案責任者: 二宮 嘉行 教授(統数研) 柳原 宏和 教授(広島大)、川野 秀一 教授(九州大))

- 来年度9/23-9/27「German-Japanese Fall School "Time series, random fields, and beyond"」(at Ulm Univ.)を開催の予定です。MOU締結機関であるドイツウルム大学の先生方、東北大学の松田安昌教授、統数研の栗木哲教授に加えて、今回は東京大学の荻原哲平准教授(リスク解析戦略研究センター客員准教授)がオーガナイザーとなり、統数研の鎌谷研吾教授がキーノートとなる予定です。詳細は順次お知らせします。

■ 環境情報に対する統計解析手法開発プロジェクト

- 3月16-18日 長野県長野市にて共同利用研究集会2023-ISMCRP-5014「植物の行動と統計数理」(研究代表: 高野 宏平 長野県環境保全研究所研究員)を開催しました。

(所内責任者: 島谷 健一郎 准教授)

- 3月22日 ISMシンポジウム「ISM Symposium on Environmental Statistics 2024」を開催しました。研究所内からは、加藤昇吾准教授、村上大輔准教授の協力を頂き、海外から4名、日本国内から3名の研究者を招聘し、大変盛況でした。

<https://www.ism.ac.jp/events/2024/meeting0322.html>



(所内責任者：金藤 浩司 教授)

■ 金融リスクの計量化と戦略的制御プロジェクト

- 来年度は金融シンポジウムを開催の予定です。
(所内責任者：山下 智志 教授)
- リスク解析戦略研究センターの金融Pが持っている企業データをデータサイエンス共同利用基盤施設の社会データ構造化センターで公開する方向で検討中です。また大学統計教員育成センターでも教育事業として使えるようにすることを検討しています。

(所内責任者：山下 智志 教授)

■ 資源管理リスク分析プロジェクト

- 3月12-13日 統数研にてAgFReM国際インター

ンシップセミナーを企画・開催しました。参加者は17名で日本・韓国・カナダ・チェコ・オーストリア・ポルトガル・ベトナム・カンボジア・ラオス・ネパール・インドネシアの11カ国からの参加がありました。



(所内責任者：吉本 敦 教授)

- 3月16-17日 札幌医科大学にてFORMATH SAPPORO 2024 国際シンポジウムを企画・開催しました。

<https://www.formath.jp/symposium/2024FORMATH/index.html>



(所内責任者：吉本 敦 教授)

- FORMATH 研究会 (日本)、韓国森林管理情報学会 (韓国) 台湾森林生態系管理学会 (台湾) の3か国を中心に「データサイエンスと数理モデリング」のレンズを通して見た持続可能な森林生態系管理を目的とした TROSFEM 国際研究機構を立ち上げました。

<https://www.trosfem.org/>

(所内責任者：吉本 敦 教授)

■ 地震予測解析プロジェクト

- 3月15-20日 STATSEI 13(第13回国際統計地震学大会)が中国南方科技大学(中国広東省深セン市)で開催されました。庄建倉教授はチュートリアル講演を、尾形良彦名誉教授は招待講演を行いました。

<http://www.statsei13.org.cn/>

(所内責任者：庄 建倉 教授)

- 4月1-19日 ベルン大学気候変動研究センター(OCCR) 数理統計・数理科学研究所、地理研究所・ポスドク研究員 Jonathan Koh 氏がリスク解析戦略研究センターを訪問し、共同研究を行います。

(所内責任者：庄 建倉 教授)

■ 時空間データ解析プロジェクト

- 時空間データ解析プロジェクトの研究が環境研究総合推進費の革新型研究開発(若手枠A)に採択されました。

(所内責任者：村上 大輔 准教授)

- 4月15日 台湾の Academic Sinica で空間モデリングに関するセミナーを実施します。

(所内責任者：村上 大輔 准教授)

4. センター事務局からのお知らせ

- 3月のリスクセンター運営会議は休会でした。
- ・ 次回の会議は2024年4月10日(水) 11:00～の予定です。

2024/4/2